

スピエネットの新たな潮流～理論と実践の両面から＜理論編その2＞
スピリット・センタード・セラピーのすすめ

スピエネットでは、前期は名著「バイブレーション・メディスン」を学ぶことによって、この領域の共通認識をつくる努力をしましたが、今回は、“スピリチュアリティ”と“エネルギーケア”を巡る「新たな潮流」を理論と実践の両面から学ぶことを目標として、4回にわたる連続講座を行なうことにいたしました

毎回、レクチャーの後には多面的に理解を深めるために、スピエネット対話＜ダイアログ＞を今回も行います。ぜひ、この貴重な連続講座にご参加下さい。

★13:30～15:00「スピリット・センタード・セラピーの意義と臨床心理における活用」

石川勇一（相模女子大学人間社会学部人間心理学科教授）

どの分野でも“スピリチュアリティ”を含めた取り組みが必要になりますが、石川氏は心理学の専門家として『スピリチュアル心理学入門』『心理療法とスピリチュアリティ』という本を書かれており、最近では、心理学に限らずにすべてのセラピーがスピリットを中心にするための「スピリット・センタード・セラピー」という概念を提唱されています。合わせて、臨床の場での「インテグラル理論」や「思考場療法（TFT）」の実践についても語っていただきます。

★15:15～16:45 スピエネット対話＜ダイアログ＞

石川勇一×川畑伸子（NPO 法人サイモン療法協会専務理事）×島村真木（ヒーリングタッチ東京）

このシリーズの最後のまとめとして、スピリチュアリティとエネルギーケアについての最新の認識の仕方として注目を集めている「フィールド」も含めて、ケン・ウィルバーの提唱する「インテグラル理論」を交えた統合的な視点で理解を深めていきます。



■日 時:2014年4月5日(土)13:30～16:45

■場 所:連合会館 404号室

■参加費:

会員 3,000円 一般 4,000円

*会員とは主催、共催、協力団体の会員(ヒーリングタッチ東京はヒーリングタッチ・学生が会員扱い)を指します。

■申し込み手順

1. 必要事項(1氏名、2住所、3電話、4E-mail、5所属(①

会員(団体名)・②一般)を、ho-kanto@tg.rim.or.jp までお

送り下さい(締め切り9月26日(木))。*または、FAXでお申し込み下さい(FAX: 03-5572-8219)。

2. 申し込み受理のお知らせが到着後1週間以内に参加費をお振込み下さい(申し込み後1週間以内に連絡がない場合はお問い合わせ下さい)。

三菱東京UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567

特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。

＜主催＞NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 (生活習慣病予防指導士3単位)

＜共催＞NPO 法人日本スピリチュアルケアワーカー協会、ヒーリングタッチ東京

＜協力＞日本アントロポソフィー医学のための医師会、NPO 法人サイモン療法協会、サトルエネルギー学会、日本トランスパーソナル学会